

～ 酒田市立平田小学校の校章について ～



【校章デザイン制作者】
佐藤 真生 先生

～平田小学校 校章デザインについて～

小学生や学校の教職員、地域の方々にとって親しみやすさ・インパクト・覚えやすさを考えると同時に単なるシンボルとしてだけではなく、特に小学生が「自分の気持ちを映す鏡」としての役割を持つような校章マークデザインを考えてみました。

例えば朝、子どもたちが登校して校章を見た時、もし校章が「笑顔」に見えるとしたら、それは子どもの心が幸せでいっぱいになっているからではないでしょうか。家族や友だちや先生、そして地域の人たちとの充実した毎日を過ごしているからに違いありません。

しかし、子どもたちは、大人がすでに忘れてしまったような、そして大人が気付かないほどの些細な心配の種をいつもその小さな胸の中にたくさん持っていて、毎日笑顔の日ばかりではありません。友だちとけんかしてしまったことや意地悪をしてしまったこと、お母さんに嘘をついてしまったこと、宿題を忘れてしまったことなど…。でも、小さな困難を乗り越えて前に進むことができた時、子どもは大きく、たくましく成長するのだらうと信じています。そのためには家族・学校・地域など子どもを見守る周囲の大人の協力が欠かせません。

極端に経済優先・成果重視の社会になってしまった日本が見失っていたものは、「人と人の絆の大切さ」であったと大震災は気づかせてくれました。僕は、校章を見ることによって一瞬であっても子どもたちが自分の心と向き合う事ができるような校章デザインとは何かを考え続けました。自分と向き合うということは、自分を大切にすることに他なりません。自分を大切にすることはきっと他の人のことも大切にすることでしょう。